

とおの社協 福祉をより

～たすけあい ささえあう 福祉でとおのづくり～

2026

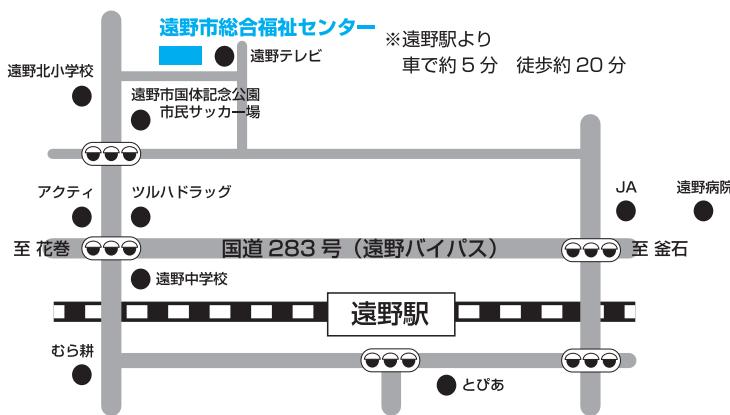
1

月

第 118 号



1月12日（月）、遠野市総合福祉センターにて令和8年はたちを祝う会が開催されました。市長をはじめ総勢58名が参加され、はたちを迎える村上聰泰（ときよし）さんをお祝いしました。写真は聰泰さんとご家族の皆様です。（詳細は、P5をご覧ください。）



△もくじ△

- 評議員改選・ほうき作り……………P 2
- スキルアップ研修・家族介護者教室……………P 3
- 子ども食堂……………P 4
- 地域福祉情報……………P 5
- お知らせ……………P 6～7
- 奥の細道
- ご寄附・ボランティア協力紹介……………P 8



この広報誌は、
赤い羽根共同募金の配分を受けて作成しています

□副会長及び評議員の選任(欠員補充)について□

民生児童委員改選に伴う前副会長の辞任により、令和7年12月23日に開催された第6回理事会で新たに副会長に琴畠錦一理事が選定されました。

また、評議員選任・解任委員会において、12月23日付けで新たに7名の評議員(欠員補充)が選任されました。

役職	氏名	選任区分		任期
副会長	琴 畠 錦 一	民生児童委員	遠野市民生児童委員協議会副会長	令和7年12月23日から令和9年6月定時評議員会終結の時まで

役職	氏名	選任区分		任期
評議員	高 橋 忠 雄	社協支部	綾織支部理事	令和7年12月23日から令和11年6月定時評議員会終結の時まで
	村 上 京 子		松崎支部長	
	千 葉 真由美	民生児童委員	綾織地区民児協会長	
	佐々木 哲 也		土淵地区民児協副会長	
	吉 田 満 世		宮守地区任意民児協会員	
	伊 藤 芳 江		宮守地区民児協会長 (達曾部地区任意民児協会長)	
	菊 池 紀 博		鰐沢地区任意民児協会員	

ほうき作り講座開催



11月27日・12月1日に
参加いただいた皆様

農福連携事業の取組でほうき作りを2グループに分けて開催しました。今年度の参加者は過去最多の19名となり、初めて参加された方が12人と多くおりました。

11月27日、28日は、ほうき草を編む前の準備段階として、穂先の長さの選別を行いました。

12月1日、5日は、選別を行ったほうき草を針金で編み込む作業を行いました。慣れない作業の中、講師の小友定吉さんにアドバイスをいただきながら、なんとかほうきを完成させることができました。

初めて参加された方からは、「思いどおりに作成することができなかったので、来年リベンジしたい。」「穂先の長さを揃える選別作業がいかに大切か実感しました。」といった感想をいただきました。



11月28日・12月5日に
参加いただいた皆様



ほうき草を
編み込んでいる様子

～福祉支援者スキルアップ研修～ 「VR 認知症体験」

12月10日（水）、遠野市福祉センターを会場に、福祉従事者を対象とした福祉支援者スキルアップ研修が行われ80名の方が参加しました。VR（バーチャルリアリティ）を使用して、「視空間失認」や「レビー小体型認知症」、「見当識障がい」といった3つの症状を当事者の視点で体験しました。

視空間失認とは？

視野や知能に問題がないのにも関わらず、空間における物体の位置関係や自己と周囲との空間的関係を正しく認識・把握できなくなる

レビー小体型認知症とは？

大脑皮質や扁桃体など、脳の部位に「レビー小体」という異常なたんぱく質が蓄積することで引き起こされる認知症

見当識障がいとは？

時間や場所、人物を正しく認識・判断できなくなる



実際にVRで認知症体験をした参加者からは、「普段想像だけで利用者の対応をしていたが、当事者視点を体験することで、もっと話を聞く必要があると思った。」「レビー小体型認知症の体験を通して、はっきりと幻視が見えていることを、否定するのは良くないと思った。」といった感想があり、新たな気づきを得る良い機会となりました。

家族介護者教室

12月15日（月）、青笹地区センターを会場に、遠野市家族介護支援事業として「eスポーツ体験会」が行われ、青笹町民21名が参加しました。

eスポーツは、高齢者の健康維持や社会参加、生きがい創出に効果が期待されており、年齢・性別問わずに楽しめるスポーツとして注目されております。

この家族介護支援事業は遠野市から受託している事業であり、1月までに市内6町で開催されました。また、2月に3町で開催予定です。今年度の事業の目的は、大きく分けて2つあります。1つ目は「介護する側の方々が少しでも長く元気でいられるように」、2つ目は「介護保険サービスの内容を紹介する」とし、それに見合ったテーマ3つを取り上げています。

市内各町によりテーマは違うため、市民の皆様ご自身が興味のあるテーマについて参加できますので、どうぞお気軽にご参加ください。

今後の開催日程

開催町	日付	内 容
松崎町	2月2日（月）	eスポーツ体験会
附馬牛町	2月6日（金）	アロマで心の癒やし体験会
小友町	2月9日（月）	//



ボランティア活動情報

12月26日（金）、冬休みの期間を活用して遠野高校2年生の山本仁愛さんがふれあいホーム附馬牛にてボランティア活動を行いました。

山本仁愛さんは、元々介護に興味があり、高齢の方と関わることが好きなことを理由に今回のボランティアに応募したそうです。実際に創作のお手伝いや髪を乾かすなど、利用者の方と関わっていく中で介護福祉士を目指してみたいと話しておりました。

また、今後もこのような機会があったら積極的に参加したいと話されました。



髪を乾かしている様子



新年に飾る作品を作っている様子

～「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」～

子ども食堂「わんぱくキッチン」

12月13日（土）に遠野町まちづくり協議会が主催する子ども食堂「わんぱくキッチン」が、多数の遠野高校生ボランティア参加のもと開催されました。

この取組は、遠野高校で行われている「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」の中で、「遠野市社協による子ども食堂の学習」に参加してくれた生徒たちの実践の場として、開催されました。生徒たちは約半年かけて、子ども食堂についての学びを深め、実際に子ども食堂の企画を立案しました。

当日は、寺沢だんご汁と大学芋、塩おにぎりを参加者75名に提供しました。「普段食べる量が少ない子どもが、おにぎり2個と野菜の沢山入った寺沢だんご汁を全部食べて、とても驚きました。」「初めて子ども食堂を知ったので、次回も参加してみたいです。」といった感想がありました。

材料は、附馬牛町・松崎町に住む方からの寄付のほか、社協が花巻清風支学校遠野分教室中学部の生徒と協力して育てたサツマイモを使用しました。

寺沢だんご汁とは

…宮守地域の郷土料理で、ジャガイモを潰して片栗粉と混ぜた「寺沢だんご」を野菜と鶏肉と一緒に味噌仕立てで煮込んだ汁物



食改協の皆さんと協力して調理している様子



トランプで遊んでいる様子

～附馬牛地区～

つきもうし「もぐもぐ食堂」



調理をしている様子



食事の提供を行っている様子

11月4日（火）、附馬牛地区センターを会場に、今年度2回目となる「もぐもぐ食堂」が開催されました。

「もぐもぐ食堂」は、「児童がみんなで集まって食事をする機会を」という思いから企画され、更生保護女性の会と児童館に通う児童が共に調理を行い、自分たちだけではなく、地域の方々にも料理を振る舞っています。

また、令和7年度からは「児童の簡易的な経営体験」となるよう、地域の方々に1食100円で提供する取組を始めました。

当日は、更生保護女性の会、地区センター職員、附馬牛児童館に通う児童が中心となってひつみとおにぎりを作り、参加した地域住民に提供しました。

参加した児童からは、「今回の売上金を困っている人や、必要としている方に使っていただきたいです。」といった感想があり、当日売り上げた8,600円は、歳末たすけあい運動に募金していただきました。

令和8年はたちを祝う会



1月12日（月）、遠野市総合福祉センターにて、13回目となる「令和8年はたちを祝う会」が開催されました。当日は、遠野市長をはじめ、ご来賓の皆様や関係される福祉団体の方々など、58名に参加していただき、はたちを迎える村上聰泰（ときよし）さんをお祝いしました。

祝宴では、記念品の贈呈の他に、20年間を振り返るスライドショーの写真を眺め思い出に浸りました。また、昼食は後援団体の皆さんから協力を得て、豚汁やおにぎりが振舞われました。

はたちを迎える村上聰泰さんは「これからもお仕事を頑張っていきたいです。」と抱負をいただきました。

二十歳おめでとうございます。



本人の希望により雪かきの道具を記念品として贈呈しました

→ 1両編成の車両は満席



← 名物の「ナポリカツ」を堪能

花巻へ「電車でGO」

遠野市地域活動支援センター「カムカム」では、11月30日（日）に汽車を利用して花巻の「マルカン大食堂」に行きました。この行事は、利用者からの「汽車に乗つてみたい」との言葉から、中々汽車に乗る機会がない、どうやって乗ればよいか忘れた等と話が広がり、企画したものとなります。

当日は、利用者10名の参加とボランティア3名に見守りの協力をいただきました。汽車やバスの乗り方を確認しながら公共交通機関を乗りつぎ、目的地である「マルカン大食堂」を目指しました。

参加者からは、「久しぶりに汽車に乗ることができてよかったです」、「また乗みたい」等の感想がありました。

ちょボラクリスマス会開催



→ 「bingoだ！ボード」の様子



← サンタさんから素敵なプレゼント

12月21日（日）、ちょボラにて今年

ちょボラに関わっていただいた方々（地活利用者・福祉団体・ボランティア）等、総勢33名でクリスマス会を開催しました。

当日は、新スポーツ「bingoだ！ボード」やカラオケ、ジェスチャーゲームを行いました。bingoだ！ボードでは、高得点の所にボールが入たびに、拍手や歓声が上がりとても盛り上がりました。

また、会場にサンタさんが登場し、参加者全員に素敵なプレゼントをお届けしました。

参加者からは、「久しぶりのクリスマス会をたくさんの人と過ごすことが出来て、とても楽しかったです。」といつた感想がありました。

第4回ふれあい福祉のつどい

～地域共生社会について考えよう～

加速する人口減少、少子高齢化、働き手不足等、福祉を取り巻く環境は予想を超えて厳しさを増し、また、市内の田園風景に目を向けると耕作放棄地が増加の一途を辿っています。

地域共生社会、農地有効活用の視点から、「福祉×農業の融合」の先進事例を学び、皆さんで新しい農福連携の形を考えましょう。

日 時：令和8年2月27日(金)
18:00～20:00
(17:30～開場)

場 所：あえりあ遠野「中ホール」
参 加：無料
(市民どなたでも参加できます)



講師紹介 高橋 和人 (たかはし かずひと) 氏

1961年岩手県生まれ。NPO法人「里・つむぎハ幡平」と一般社団法人「すばる」理事長兼統括施設長を務める。盛岡市内で輸入インテリア店を15年営んだ後、44歳の時に社会福祉法人の立ち上げに関わり、特別養護老人ホームの施設長などを5年余り経験した。

第1部 認知症にやさしいまちを目指して認知症劇 (20分)

「あなたはあなたのままが良し」

出演 劇団オレンジ
(遠野物語ファンタジー制作委員会)



第2部 特別講演 (90分)

地域共生社会における 「まるごとケアと半農・半介護の取組み」

講師 特定非営利法人里・つむぎハ幡平
理事長 高橋 和人 氏

申込み方法



QR コード

または 電話申込み
62-8459

または FAX申込み
62-9311



申込締切：令和8年2月20日(金)

主催：社会福祉法人遠野市社会福祉協議会

共催：遠野市、遠野市民生児童委員協議会

協力：遠野市社会福祉法人等連絡会

【お問合せ】
遠野市社会福祉協議会
電話 62-8459

職員募集

令和8年4月採用の正職員・非常勤職員を募集します。

採用試験日
随時実施します。

採用試験内容
作文試験・面接試験（書類選考あり）
※非常勤職員は面接試験のみ

募集期間
定員になり次第終了します。

- 募集内容はホームページまたはハローワークの求人内容をご確認ください。
- 資格要件については、令和8年3月末資格取得見込み者も応募できます。

【問い合わせ】
総務企画課
☎ 62-8459

募集内容の
詳細は
こちら




心配ごと相談。 無料弁護士相談のご案内

住民が抱える様々な問題に対し、解決のアドバイスや専門機関及び関係機関の紹介を行っています。また、遠野ひまわり基金法律事務所の協力を得て、無料弁護士相談を実施しています。お気軽にご相談ください。

心配ごと相談

遠野地区:遠野市総合福祉センター相談室
日時: 2月6日(金) 2月20日(金)
3月6日(金) 3月20日(金)
時間: 10時~16時
☎ 62-9260(当日のみ)

宮守地区:宮守福祉センター相談室
日時: 2月18日(水) 3月18日(水)
時間: 10時~15時
☎ 67-2833

たすけあい更生資金の貸付

市内に住む低所得世帯または一時的な生活困窮世帯で、緊急に金銭が必要であり、他から調達することができない世帯を対象とした貸付制度です。
※生活保護世帯は除きます

【貸付金額】 1世帯 5万円以内

【貸付利子】 無利子

【返済期間】 1年以内

【返済方法】 一括または分割で返済

【貸付要件】 同居家族以外の市内または近隣市町村に居住する原則65歳以下の連帯保証人1名と地区民生委員の意見書が必要になります。

【問い合わせ】

地域福祉課 **☎** 62-8459

※来所の際は、事前に日時のご予約をお願いします

無料弁護士相談【要予約】

遠野地区:遠野市総合福祉センター相談室
日時: 3月30日(月)
時間: 10時~17時
☎ 62-8459

宮守地区:宮守総合支所相談室
日時: 2月24日(火)
時間: 10時~17時
☎ 67-2833

